

あぎの里のひなまつりつるしかざり

平成 21 年度の中津川市阿木公民館講座「つるしかざりをつくりましょう」からはじまり、今では 5 日間で、12,000 人以上の見学者が訪れるイベントまでに成長しました。

初年は、講座生が 17 人でしたが、年が変わるごとに受講生が増え続け、平成 30 年度には 61 人になりました。初回から阿木の中の島公園内のふれあいホールで作品の展示を行い、回を重ねて 11 回となりました。残念ながらコロナの影響で R2 年度、R3 年度中止となりましたが、地域の冬の一大イベントとして定着しています。



H26 あぎの里ひな祭り展示の様子

つるし雛の風習は全国でも珍しく、静岡東伊豆町稲取「雛のつるし飾り」、福岡県柳川市「さげもん」、山形県酒田市「傘福」の3つの地域は歴史的な背景や由来、文献などの残るゆかりの地となっており、併せて「全国三大つるしかざり」と呼ばれています。

『09 柳川雛祭り『さげもんめぐり』日本二夫つるし飾りサミット in 柳川 パンフレット』より

山形県酒田市「傘福」

「傘福」は傘の先に幕をめぐらし飾り物をさげるのが特徴です。また子供の健やかな成長、女性の一生の健康を願うという傘福信仰の意味合いもあったと伝えられております。このように庶民の切なる願いを一心に込め吊されたものが「傘福」です。

静岡東伊豆町稲取「雛のつるし飾り」

この稲取温泉に伝わる雛祭りには、古くは江戸時代後期の頃より、娘の成長を願う母や祖母手作りの「つるし飾り」が飾られる風習がありました。子や孫の成長を願うやさしい暖かい心を込めた稲取独自の風習で、女の子の健やかな成長を願って手作りされ、意味や決まりごとを守りながら、この町独自の和裁細工として現在まで受け継がれて来ています



稲取温泉旅館協同組合HPより

福岡県柳川市「さげもん」

「さげもん」は女の子が生まれるとその子の幸せと健やかな成長を願い、初節句のお祝いに親戚や祖母たちが一針一針に心をこめて縫い上げ、雛壇の両脇にさげます。ご近所の初節句のお宅の華やかな雛壇とさげものを観賞して、お祝いをするのが風習で多くの人に祝ってもらった女の子は多くの幸福を手にすると言われています



山形県HP_山王くらの傘福より



柳川市HPより